

政策シート

(政策名) 美術館の魅力の創出

(予算費目名) 美術館費

(総合計画体系)

「分野」 文化・生涯学習

30年後の姿 創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

- 10年後の目標
- ・ 音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
 - ・ 多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

◆基本政策 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

◇政策の概要

市民の芸術文化活動を促進するため、市民文化の創造拠点として、また、優れた美術作品の鑑賞機会を提供するなど、多様なニーズに応えることができる美術館として、事業の充実を図る。

◇関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	66,110	472,807	59,024	92,158	94,415
決算	62,654	88,664	56,217	85,744	
人件費(A)	48,300	48,300	48,300	51,800	51,800
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	110,954	136,964	104,517	137,544	146,215

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
展覧会入場者の満足度(来場者アンケート)	%	70	目標	70	70	70	70	70
			実績	83	79	91	94	
施設の満足度(来場者アンケート)	%	50	目標	50	50	50	50	50
			実績	74	65	61	73	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

- ・優れた美術作品の鑑賞機会や多様なニーズに応えるよう事業の充実を図った。
- ・平成30年度は、前年度に空調設備等の大規模改修工事を完了したことにより、機器類の適切な管理運営を行い、良好な美術館環境を提供できた。
- ・美術館リニューアル企画として企画展・特別展・平常展等の展覧会を開催した。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

- ＜進捗＞ 計画通り
- ・設備対策(老朽化・収蔵庫)が完了したことで、平成30年度はリニューアル企画として日本洋画、アニメ、西洋絵画展など、内容の濃い展覧会を開催することができた。年間の観覧者数は平成に入り過去最高の10万人となるとともに、来場者アンケートは満足度で94%であった。今後も魅力の創出に努めていく。
 - ・庁内検討会や美術館協議会で今後の美術館運営についての考え方をまとめた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	美術館運営事業	○	○			61,193	35,293	3.5			0.5	
2	美術館展覧会開催事業	○	○	○		82,708	56,808	3.5			0.5	
3	美術館資料購入基金積立金					1,348	1,348					
4	美術館運営経費(一般諸経費のみ)					966	966					
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						146,215	94,415	7.0			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 美術館運営事業

◇事業目的・事業対象

美術館施設・設備を適切に維持管理し、良好な美術館環境を保ち、適切な美術館運営を図る。
美術館資料の収集及び収蔵品の適切な保存管理を行う。

◇事業の概要

○美術館維持管理事業

・快適な美術鑑賞の場を提供するほか、適切な施設管理に努める。

○美術館資料収集保存事業

・収蔵品の保全・保存を図るための修復や額装
・ガラス絵などの額縁や作品展示ケースの修繕など
・収蔵品管理システムの更新
・収蔵品及び寄贈作品の調査

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S46	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	○	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	25,450	417,829	31,384	31,670	35,293
	決算	23,869	37,394	29,621	29,097	
	国・県支出					
	市債					
	その他	7,777	7,078	4,767	5,698	5,136
	一般財源	16,092	30,316	24,854	23,399	30,157
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		22,400	22,400	26,460	25,900	25,900
人工	正規	3.0	3.0	3.5	3.5	3.5
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	0.5	0.5	0.7	0.5	0.5

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

国内外の優れた作品を鑑賞できる環境づくりや教育普及活動により、美術への扉を広げるとともに美術の知識を深めることができる。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
空調設備整備工事の実施					-	H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	工事の設計	工事の設計	工事の実施	達成	温湿度管理	温湿度管理	温湿度管理
実績値	未着手	工事の設計	工事の実施	達成			

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
					-	H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
					-	H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
					-	H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
					-	H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

○美術館維持管理事業

・施設の清掃、警備、くん蒸及び消防・空調設備等の維持管理等

○美術館施設整備事業

・器具庫棚設置工事

○美術館資料収集保存事業

・収蔵品の保全・保存を図るための修繕

・美術館改修工事完了に伴う、地域遺産センター内収蔵庫から浜松市美術館への収蔵品移転

・収蔵品移転に伴う収蔵品管理システムの棚番号修正及び収蔵品点検・調査

・寄贈作品の調査及び収蔵品としての受け入れ

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

○美術館維持管理事業

平成29年度に空調設備等の大規模改修工事及びトラックヤード棟増築工事が完了したことから、今年度は機器類の適切な管理運営により、美術品を適切な温湿度管理下で保存・展示することができるとともに、計画的な作品の安全移転など、良好な美術館環境を提供することができた。

○美術館資料収集保存事業

寄贈作品の相談・調査・研究を行い、多様な寄贈作品を受け入れることができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・設備機器の改修及びトラックヤード増築後、機器類の調整を行いながら良好な美術館環境を維持管理できた。
- ・寄贈相談のあった作品について調査・研究を行い、多様な寄贈作品を受け入れた。今後も継続していく。
- ・次年度展覧会について調査研究を進めた。
- ・収蔵品管理システムの更新に伴い、クラウド型システムの導入について検討した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・庁内検討会や美術館協議会で今後の美術館運営についての考え方をまとめた。
- ・来館者にとって快適な鑑賞や憩いの場となるようサービス向上に努め、市民ニーズに対応した環境整備に取り組む。
- ・改修後の良好な空調機器類を維持できるよう適切に施設管理していく。

補助シート (事業名) 美術館運営事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
〇〇				
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
110	美術館空調設備等改修 工事実施設計業務	現収蔵庫にある所蔵品 の新たな収蔵品保管施 設への移転計画作成	美術館空調設備等改修 工事	

事業シート (事業名) 美術館展覧会開催事業

◇事業目的・事業対象

市民に優れた美術作品の鑑賞機会を提供し、市民の芸術文化の向上を図るとともに、「創造都市・浜松」の実現に寄与する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.184】

- 平常展開催事業
 - ・市展(R2.2.4~2.16) ・新収蔵品展(H32.2.25~3.26)
- 企画展開催事業
 - ・上村松園展(H31.4.27~6.9) ・スーパーリアルワールド展(R1.9.28~12.15)
- 特別展開催事業
 - ・木梨憲武展(R1.7.13~9.8)
- 教育普及事業
 - ・ギャラリートーク、ワークショップ、講演会 など ・教員向け研修、博物館実習
 - ・浜松市とスイス・ベルン市の絵画交流展 ・出前講座 ・子どもの市展 ・展覧会図録の刊行
 - ・市民参加型のボランティア導入についての調査

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S46	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	37,966	52,208	25,017	58,377	56,808
	決算	36,660	49,066	24,612	54,590	
	国・県支出					
	市債					
	その他	23,743	17,516	12,748	34,286	34,402
一般財源		12,917	31,550	11,864	20,304	22,406
一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		25,900	25,900	21,840	25,900	25,900
人工	正規	3.5	3.5	3.0	3.5	3.5
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	0.5	0.5	0.3	0.5	0.5

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

国内外の優れた作品を鑑賞できる環境や教育普及活動により、美術への扉を広げるとともに美術の知識を深めることができる。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
展覧会観覧者数(人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	51,000	55500	33000	75000	83000	85000	85000	
実績値	38724	52196	36352	101575				
市展応募作品数(点)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	350	350	350	350	350	350	350	
実績値	322	297	259	254				
収蔵品展観覧者数(人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					2000	2000	2000	
実績値				1978			184	
市展応募作品数(点)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
市展応募作品数(点)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- 平常展開催事業
 - ・市展(H31.2.1~2.13) ・浜松市美術館名品セレクション(H31.3.5~3.31)
- 企画展開催事業
 - ・近藤喜文展(H30.6.23~9.9) ・大城貞夫版画展(H31.3.5~3.31)
- 特別展開催事業
 - ・THE日本洋画150年展(H30.4.14~6.6) ・ドラマチック!西洋絵画の世界展(H30.9.22~11.11)
- 教育普及事業
 - ・子どもの市展、浜松市とスイス・ベルン市の絵画交流展
 - ・ギャラリートーク、ワークショップ、講演会 など
 - ・教員向け研修、博物館実習
 - ・図録(名品セレクション・大城貞夫)の刊行

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

・リニューアルオープンを記念した、日本洋画・西洋絵画・アニメーションなどの展覧会を開催し、市内はもとより県外から、家族連れなど幅広い世代の方に鑑賞していただいた。観覧者数は平成に入り過去最高の100,000人となり、目標の75,000人を大きく上回った。今後も魅力ある展覧会を企画していく。
 ・市展の応募作品数は、会場を美術館に戻したものの前年並となった。今後PRを含め工夫していく。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・日本洋画・西洋絵画・アニメーションなど特別展2本、企画展2本、館蔵品展を調査・研究し開催することができた。また、SNSにより経費をかけずに展覧会の魅力を広く情報発信した。
- ・教育普及事業について、ワークショップ、出前講座などを実施し、延べ6,553人参加した。また、子どもの市展には、市内の幼稚園(60園)、小・中学校(146校)が参加し、各園や学校の力作が集まった展覧会となった。今後も展示手法等を検討していく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・専門職員(学芸員)による調査・研究の成果を展覧会や教育普及活動等に積極的に活用していく。
- ・教育普及活動は、児童・生徒など小中学校と多く関係している。今後は大学生・社会人など幅広く深く学べるようギャラリートークやワークショップ等を展開していく。
- ・展覧会を企画する際は教育的な価値のほか、コスト面・集客力などを考慮しつつ、誘客にも力を入れていく。
- ・浜松ゆかりの美術文化等に触れる機会を充実していく。

補助シート (事業名) 美術館展覧会開催事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
184	浜松ゆかりの作家・作品の顕彰(調査研究・展覧会)や収蔵品の活用等	浜松ゆかりの作家・作品の顕彰(調査研究・展覧会)や収蔵品の活用等	浜松ゆかりの作家・作品の顕彰(調査研究・展覧会)や収蔵品の活用等	浜松ゆかりの作家・作品の顕彰(調査研究・展覧会)や収蔵品の活用等
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 美術館資料購入基金積立金

◇事業目的・事業対象

基金の利息や寄附金を美術館資料購入基金へ積み立てる。

◇事業の概要

- ・篤志家等からの寄附金を美術館資料購入基金へ積み立てる。
- ・美術館資料購入基金の運用利息を基金へ積み立てる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市美術館資料購入基金に関する条例	—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	2,134	2,210	1,920	1,417	1,348
	決算	1,634	1,709	1,420	1,417	
	国・県支出					
	市債					
	その他	1,634	1,709	1,420	1,417	1,348
	一般財源					
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)						
人工	正規					
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

誰もが国内外の優れた作品を鑑賞できる環境や教育普及活動により、美術への扉を広げるとともに美術の知識を深めることができる。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
美術館資料購入基金への寄附者(人)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	1	1	1	1	1	1	1
実績値	0	0					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・篤志家等からの寄附金を美術館資料購入基金へ積み立てる。
- ・美術館資料購入基金の運用利息を基金へ積み立てる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

美術館資料購入基金への寄附者なし。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・運用利息の積み立てを行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・運用利息の積み立てを行う。
- ・寄附の手続き方法などをわかりやすく整備する。

事業シート (事業名) 美術館運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	560	560	703	694	966
	決算	491	495	564	640	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	491	495	564	640	966
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)						
人工	正規					
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート (政策名) 美術館の魅力の創出

(予算費目名) 秋野不矩美術館費

(総合計画体系)

「分野」 文化・生涯学習

30年後の姿 創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

- 10年後の目標
- ・ 音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
 - ・ 多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

◆基本政策 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

◇政策の概要

秋野不矩美術館の管理運営と資料の収集・保存を行い、市民に優れた鑑賞機会を提供するとともに、芸術文化活動を支援する。

◇関連するSDGsのゴール

④教育								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	56,926	64,921	58,381	61,175	108,943
決算	54,187	56,531	57,097	60,137	
人件費(A)	23,800	23,800	23,800	23,800	23,800
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	77,987	80,331	80,897	83,937	132,743

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
市民ギャラリー利用日数	日	80	目標	60	60	60	84	30
			実績	85	102	71	68	
入館者数	人	30,000	目標	54,000	54,000	54,000	38,000	13,000
			実績	33,197	28,149	29,355	33,070	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

秋野不矩美術館の管理運営と資料の収集・保存を行い、市民に優れた鑑賞機会を提供するとともに、芸術文化活動を支援する。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる

- ・老朽化により劣化が激しかった坂途中の手すり改修工事、消火栓設備蓄電池交換修繕工事等を実施し、適切な施設の維持管理を行い、来館者・利用者に幅広く文化的サービスを提供できた。
- ・秋野不矩画伯の作品を修復し、所蔵品の充実を図ることができた。
- ・所蔵品展、特別展とともに入館者数が目標には達しなかったものの、夏に実施した特別展「藤森照信展」では、日頃当館を利用することが少ない若い来館者も多く迎えることができ、特別展では過去10年間で一番多くの来館者数となった。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	秋野不矩美術館運営事業	○	○			105,060	91,060	1.6			1.0	
2	秋野不矩美術館展覧会開催事業	○	○	○		27,278	17,478	1.4				
3	秋野不矩美術館運営経費					405	405					
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						132,743	108,943	3.0			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 秋野不矩美術館運営事業

◇事業目的・事業対象

文化勲章受章者である日本画家秋野不矩の業績を広く紹介し、全国に情報発信するため、秋野不矩美術館の管理運営と秋野不矩資料の収集・保存を図る。

◇事業の概要

○維持管理事業

快適な美術鑑賞の場を提供するほか、市民の創作活動の発表の場として市民ギャラリーの貸出を行うなど、当館の適正な維持管理に努める。また、経年劣化のため不具合が発生した箇所があった場合、迅速に対応を進めていく。

○施設整備事業

空調設備改修、屋根・外壁点検改修工事を着実に実施し、作品保全と安全で快適な観覧環境づくりに努める。

○資料収集保存事業

秋野不矩画伯の作品の資料充実を図るため、計画的に作品の修復を進める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H10	-	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	20,601	26,066	23,375	16,683	91,060
	決算	19,641	18,467	22,795	16,148	
	国・県支出					
	市債					
	その他	550	661	461	442	195
	一般財源	19,091	17,806	22,334	15,706	90,865
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
人工	正規	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

安全で快適な観覧環境の整備に努める。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
市民ギャラリー利用日数							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	60	60	60	84	30	60	80
実績値	85	102	71	68			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- 維持管理事業
快適な美術鑑賞の場を提供するほか、市民の創作活動の発表の場として市民ギャラリーの貸出を行うなど、当館の適正な維持管理に努める。
- 施設整備事業
経年劣化のため不具合が発生している箇所について、計画的に修繕を行い適正な施設の維持管理に努める。
- 資料収集保存事業
秋野不矩画伯の作品の資料充実を図るため、計画的に作品の修復を進める。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

- ・所蔵品展を151日間、特別展を127日間開催するとともに、企画展示室を市民ギャラリーとして68日間利用していただくなど、施設を活用して来館者・利用者に適切な文化的サービスが提供できた。
- ・経年劣化が激しかったアプローチ法面化粧板改修工事、屋根の雨漏り修繕等を実施し、適切な施設の維持管理に努めることができた。
- ・秋野不矩画伯の作品を修復し、所蔵品の充実を図ることができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・施設の適正な維持管理に努め、来館者が快適な美術鑑賞の場として、また市民が意欲的な創作活動の発表の場とすることができた。
- ・秋野不矩画伯の作品を修復し、所蔵品の充実を図ることができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・専門職員(学芸員)による調査研究の成果を、展示事業や芸術普及事業などにより活用していく。
- ・経年経過による老朽化した設備等の修繕(更新)工事を計画的に進めていく。
- ・秋野不矩の作品の収集を計画的に進めていく。
- ・周辺の文化施設等と連携し、文化振興や地域振興を促進する。

事業シート (事業名) 秋野不矩美術館展覧会開催事業

◇事業目的・事業対象

文化勲章受章者である日本画家秋野不矩の業績を広く紹介するため、本館所蔵の作品を展示する所蔵品展を開催する。また、秋野不矩を取り巻く日本画家の作品を紹介し、現代日本画壇における秋野芸術を理解するため特別展・企画展を開催する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.184】

○所蔵品展開催事業

本館所蔵作品を中心に秋野不矩の業績を広く紹介する所蔵品展を年3回開催する。

○特別展開催事業

秋野不矩を取り巻く日本画家の作品を紹介する特別展を年1回開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H10	-	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	35,920	38,452	34,603	44,089	17,478
	決算	34,266	37,762	33,906	43,594	
	国・県支出					
	市債					
	その他	13,357	10,232	10,812	16,336	6,966
	一般財源	20,909	27,530	23,094	27,258	10,512
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		9,800	9,800	9,800	9,800	9,800
人工	正規	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

良質な展覧会を企画・運営し、市民の方々への教育普及に努める。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
収蔵品展観覧者数(人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	20000	20000	20000	10000	7000	10000	10000	
実績値	15055	14127	10216	11196				
特別展観覧者数(人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	34000	34000	34000	28000	6000	20000	20000	
実績値	18142	14022	17382	21874				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

○所蔵品展開催事業

本館所蔵作品を中心に秋野不矩の業績を広く紹介する所蔵品展を年4回開催する。

○特別展開催事業

秋野不矩を取り巻く日本画家の作品を紹介し、現代日本画壇における秋野芸術の理解を深めるため特別展を年3回開催する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

・所蔵品展を151日間開催し、11,196人の来館者に秋野不矩の作品、業績を広く紹介した。

・特別展を127日間開催し、21,874人の来館者に秋野不矩を取り巻く作家たちの作品を紹介することで、秋野不矩作品に対する理解を深める場を提供した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・所蔵品展、特別展ともに入館者数が目標には達しなかったものの、夏に実施した特別展「藤森照信展」では、日頃当館を利用することが少ない若い来館者も多く迎えることができ、特別展では過去10年間で一番多くの来館者数となった。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・専門職員(学芸員)による調査研究の成果を活かし、企画等を工夫することにより、誘客に努めていく。
- ・新東名(愛知県内)開通による集客増を図るため、各種媒体を活用した広報活動を展開していく。
- ・浜松ゆかりの美術文化等に触れる機会を充実していく。

補助シート (事業名) 秋野不矩美術館展覧会開催事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
184	浜松ゆかりの作家・作品の顕彰(調査研究・展覧会)や収蔵品の活用等	浜松ゆかりの作家・作品の顕彰(調査研究・展覧会)や収蔵品の活用等	浜松ゆかりの作家・作品の顕彰(調査研究・展覧会)や収蔵品の活用等	浜松ゆかりの作家・作品の顕彰(調査研究・展覧会)や収蔵品の活用等
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 秋野不矩美術館運営経費

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	405	403	403	403	405
	決算	280	302	396	395	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	280	302	396	395	405
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)						
人工	正規					
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工